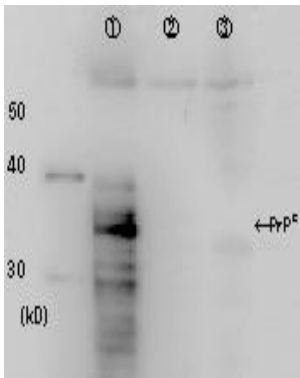


抗プリオン抗体、マウスモノクローナル（7A1）

商品コード	65-903
容量	50 µg
保存	-20℃
濃度	1 mg/ml
バッファー	PBS- with 50% glycerol
純度	7A1 をマウス BALB/C の腹水へ注射し、その腹水から IgG を精製したものである。
抗原	ウサギの腎臓細胞 RK13 に GPI アンカー欠損ヒト PrP を発現させ、培地から精製した PrP
アイソタイプ	マウス IgG1 κ
反応性	正常型プリオン蛋白質（PrP ^C ）
特記事項	7A1 は、兵庫県立大学環境人間学部北元憲利教授によって単離されたクローンである。
アプリケーション	1) ウェスタンブロッティング 2) ELISA
背景	異常型プリオン蛋白質（PrP^{Sc}）が感染すると神経細胞にある正常型プリオン蛋白質（PrP^C）が PrP^{Sc} に変換されることにより感染が進行する（1）。PrP^C が PrP^{Sc} に変化すると PrP^{Sc} が蓄積すると同時に PrP^C が欠乏することによってプリオン病が引き起こされると考えられている。 PrP^C は哺乳動物間で高い相同性を持っており、神経系の神経細胞やグリア細胞に高い発現がみられるだけでなく、免疫系や生殖系にも広く発現する膜蛋白質として知られる。PrP^C には 2 箇所の糖鎖付加部位が存在するため、ウェスタンブロッティングでブロードなバンドとして観察される（図 1）。
Data Link	UniProtKB P04156
画像	 図 1 抗プリオン蛋白質抗体(7A1)のウェスタンブロッティング 2,000 倍希釈で使用 ①プリオン蛋白質過剰発現 RK13 細胞抽出液 ②コントロールベクター導入 RK13 細胞抽出液 ③RK13 細胞抽出液
文献	1. Sakudo A <i>et al</i> "Recent developments in prion disease research: diagnostic tools and in vitro cell culture models." <i>J Vet Med Sci</i> 69:329-337 (2007) Review PMID:17485919 2. Inoue Y <i>et al</i> "Infection route-independent accumulation of splenic abnormal prion protein." <i>Jpn J Infect Dis</i> 58:78-82 (2005) PMID: 15858284 3. Grathwohl KU <i>et al</i> "Sensitive enzyme-linked immuno-sorbent assay for detection of PrP(Sc) in crude tissueextract from scrapie-affected mice." <i>J Virol Methods</i> 64:205-216 (1997) PMID: 9079766
関連製品	65-901 抗プリオン抗体、マウスモノクローナル（2C5-5）
※本製品は研究用です。診断および軍事目的に使用することはできません。	